【授業科目】看護リスクマネジメント　　Medical Safety and Risk Management

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
豊田 妙子	３年次 前　期	必　修	1	１５	講　義	あり	巻末 掲載	可

授業概要（内容と進め方）及び課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業概要／医療安全について概観したうえで、看護を実践する際に起こりうる事故の可能性および防止対策について教授し、組織システムとしての安全対策について検討する。また、労働安全衛生上の事故防止についても講義する。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／提出されたレポートにコメントをつけて返却する。または、授業内で全体に解説・資料の提示を行う。
実務経験に関する授業内容	リスクマネジメントの臨床看護経験をもつ教員が、看護職として必要な医療安全に関する知識・技術について、臨床での経験を活かし具体的な授業を行う。
授業の位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー③「専門的知識・技術に基づき、地域に暮らすあらゆる健康レベルの人々にそれぞれ必要とされる看護を実践することができる」の達成に寄与している。
到達目標（履修者が到達すべき目標）	①医療安全を学ぶことの意義と事故防止の考え方について説明することができる。 ②医療事故の発生要因とその防止体制（安全管理体制）について説明することができる。 ③労働安全衛生上の事故防止について説明することができる。 ④医療安全管理における看護職の役割を具体的に説明することができる。
時間外学習に必要な内容・時間	【事前学習】 第 1～8 回　教科書の該当する部分を読み疑問点を明確にし、授業のなかで意見交換ができるようにしておく。講義内容を深めるために課題を課すことがある。（各 120 分） 【事後学習】 第 1～8 回　教科書を読み返し文献等で内容を深める。疑問点は、教員に質問し解決するようにしておく。講義内容を深めるために課題を課すことがある。（各 120 分） ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習1時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	第１回　医療安全を学ぶことの意味、看護の法的責務 第２回　事故発生のメカニズムと分析 第３回　看護事故防止の実際①：診療の補助関連 第４回　看護事故防止の実際②：療養上の世話関連、在宅・高齢者施設等 第５回　看護事故防止の実際③：労働安全衛生関連 第６回　看護事故防止対策：グループワーク 第７回　看護事故防止対策：グループワーク発表 第８回　実習における事故防止対策：グループワーク すべて　豊田
評価方法 評価基準	定期試験　70%　　グループワーク・レポート　30%
教科書	松下 由美子 他「ナーシング・グラフィカ　看護の統合と実践(2)：医療安全　第5版」メディカ出版（電子版）、任和子他編「根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術」医学書院（１年次前学期「看護技術論Ｉ」で使用）
参考書等	東京慈恵医科大学附属病院看護部・医療安全管理部「TeamSTEPPS®を活用したヒューマンエラー防止策」日本看護協会出版会、米国医療の質委員会・医学研究所「人は誰でも間違える」日本評論社、手島恵監修「看護職の基本的責務」日本看護協会出版会
学生への助言等	対象者に対して、安心・安全な看護・医療を提供することは必須事項です。ナイチンゲールがその著書「看護覚え書」のなかで「患者に害をなしてはいけない」と繰り返し言っています。医療職のなかで、もっとも対象者の近くにいる私たちが、医療安全について深く学び、質の向上に寄与していくことを望みます。